

第5学年2組 算数科学習指導案

1 題材名 図形の角

2 本時の学習指導（2/4時）

（1）目標

○四角形の内角の和を求めるときに、三角形の内角の和が 180° であることを基に演繹的に考えている。（数学的な考え方）

（2）展開

学習活動	指導上の留意点	時間
1 前回の授業の復習 C1 三角形の3つの角の和はいつも180°になります。 C2 四角形はどうなるのだろう。	○前回の復習をすることで、三角形の3つの角の和は180°になることをもとにして考える見通しが持てるようにする。	5'
課題 四角形の4つの角の大きさの和の調べ方を考えよう。		
2 各自調べる。 C1 2つの三角形に分けて考える。 三角形が二つあるから、360° $180^\circ \times 2 = 360^\circ$ C2 四角形の中に一つ点を取って、その点と各頂点とを結んだ直線で四つの三角形に分けて考える。180°の4倍から点の周りの角の大きさである360°を引いて360° $180^\circ \times 4 - 360^\circ = 360^\circ$ C3 四角形の1辺の上に点の一つ取り、その点と各頂点とを結んだ直線で三つの三角形に分けて考える。180°の3倍から点の周りの角の大きさである180°を引いて360° $180^\circ \times 3 - 180^\circ = 360^\circ$	○四角形がプリントされた紙を配る。 ○三角形の3つの角の和は180°であることを利用して考えるよう促す。 ○見通しが持てない児童が多かった場合、四角形に直線を引いたり、点を取ったりして考えてみることを促す。 ○考えた式もノートに書くようにする。 評四角形の内角の和を求めるときに、三角形の内角の和が180°であることを基に演繹的に考えている。（数学的な考え方）	18'

3 各自の考え方を発表する	○前に来て、式と考え方を発表するようにする。 ○どの考え方でも、四角形の4つの角の大きさの和は360°になったことを確認する。	15'
4 本時の学習についてのまとめをする。	○「四角形の4つの角の大きさの和の調べ方は、」の続きを考えるようにする。 ○「四角形の4つの角の大きさの和の調べ方は、三角形に分けたり、余分な角の和を引いたりすればよい」ということをまとめる。 ○次時は、五角形、六角形、七角形について考えることが課題であることを伝える。	7'

3 備考 在籍児童数 35名

